

厚生労働大臣賞

手術支援ロボット「hinotori™ サージカルロボットシステム」の開発

<受賞者>

株式会社メディカロイド（兵庫県）

<功績>

国内外の医療従事者からの要望やアイデアを日本の産業用ロボット技術を活用することで実現し、国産で初めて手術支援ロボットシステムの量産化に成功した。

hinotori™ サージカルロボットシステム

hinotori™ サージカルロボットシステムは、オペレーションユニット、サージョンコックピット、ビジョンユニットの3ユニットで構成される



Medicaroid Intelligent Network System (MINS™) と呼ばれるオンラインサポートシステムを標準装備し、遠隔手術への取り組みも開始している

<概要>

- 手術を実施するオペレーションユニットのアームはヒトの腕に近いコンパクトな設計で、アーム同士やアームと助手の医師との干渉を低減し、より円滑な手術の実現をサポートする。執刀医が操作を行うサージョンコックピットは、執刀医一人一人の姿勢に合わせるため人間工学的な手法で設計されており、執刀医の負担を軽減し、ストレスフリーな手術をサポートする。
- 2020年8月に製造販売承認を取得した。日本で35台が導入されており、1300症例以上の手術が実施された。（2023年3月末時点）
- 今後は海外にも展開し、メイドインジャパンの手術支援ロボットとして、世界の医療従事者、患者に貢献することが期待される。